

放送の未来を開く新しいサービス「NHK Hybridcast」を開始

NHK は、放送と通信を連携させた新しいサービス「NHK Hybridcast」(ハイブリッドキャスト)を9月2日午前11時から開始します。

「NHK Hybridcast」は、放送の電波で送られてくる番組とインターネット経由で提供する情報を連携させ、多彩なサービスを実現するものです。

対応テレビをお持ちであれば<sup>(\*1)</sup>、利便性に優れたさまざまなサービスをお楽しみいただけます。

【サービス展開について】

- ・9月は第一段階として、ハイブリッドキャストのホーム画面を提供します。ここから、テレビの放送画面に最新のニュースや気象情報、スポーツ情報、為替情報などを組み合わせて表示することが可能となります。<sup>(\*2)</sup>



図1 NHK Hybridcast ホーム画面の例

- ・今秋以降には、放送中の番組に関連する情報の提供や、オンデマンドで動画を提供するサービスを予定しています。また、タブレットなどの携帯端末を連携させたサービスの開始も検討しています。
- ・具体的には、双方向クイズ番組などをはじめとする視聴者参加型サービスや番組内容を補完する解説などを想定しています。

今後とも、NHK は、放送と通信を連携させた新しいサービス「NHK Hybridcast」の充実に努めていきます。(NHK Hybridcast 紹介サイト <http://www.nhk.or.jp/hybridcast/>)

<sup>(\*1)</sup> 対応テレビにインターネット回線を接続して利用します。

<sup>(\*2)</sup> 当初は総合テレビでサービスを実施し、他のメディアへの展開も検討しています。

## 参考

### ○サービスの利用方法

Hybridcast に対応したテレビをインターネット回線に接続してご利用ください。リモコンの「d ボタン」を押すと、「NHK Hybridcast」のホーム画面が表示され、サービスを利用できるようになります。

### ○Hybridcast の仕組み

Hybridcast は、放送の電波で送られてくる番組と、インターネット経由で提供する情報を組み合わせた高度な放送通信連携サービスを実現するものです。

Hybridcast 対応受信機には、放送連携機能の拡張を行った HTML5 ブラウザが搭載されています。これにより、従来のデータ放送に比べ、より豊富な情報をより高い表現力で提供することができます。また、タブレットなどの携帯端末と連携したマルチスクリーンでのサービスや携帯端末操作による視聴者参加型の番組演出など、これまでにないサービスを提供することが可能です。

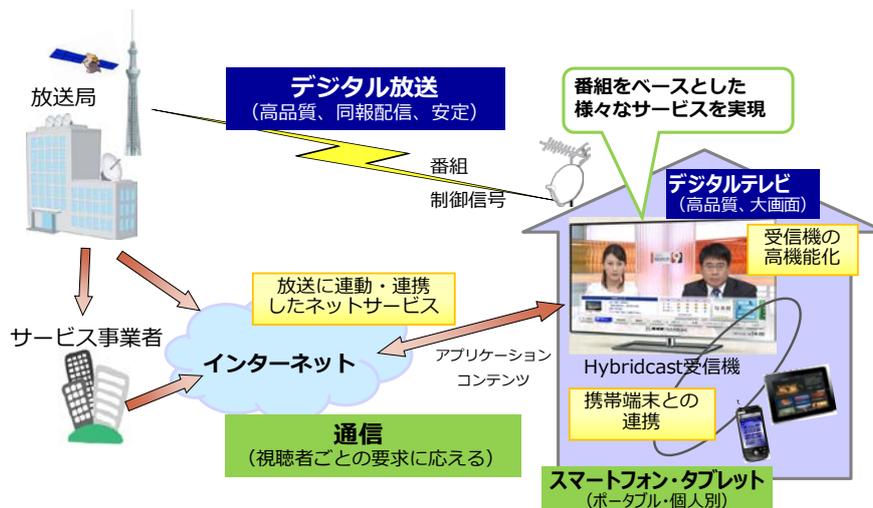


図2 Hybridcast の仕組み

### ○Hybridcast の特徴

- ・テレビ番組と同時に、また番組の進行に合わせて、インターネットから提供される様々な情報や機能を利用することができます。番組と関連する動画との連携も容易になります。
- ・ネット情報を、放送と同等の品質で表示でき、多彩な色使いも可能です。また、アニメーションなどのより表現力に富んだ機能も使えます。
- ・テレビと携帯端末(スマートフォン、タブレット)を連携するための機能を持っているため<sup>(\*)</sup>、テレビ画面を見ながらスマートフォンでクイズの解答を入力し、結果をテレビ、スマートフォンに適切に表示するなどが可能となります。

(\*) 受信機メーカーが提供予定の携帯端末専用アプリケーションを事前に用意する必要があります。